



# JOC での体験 社会の端っこから見てきたこと

© 札幌 JOC ホームページより

JOC は青年たちの養成運動として 1919 年、カルデン神父と数人の青年労働者たちによってベルギーで創立した運動です。日本では敗戦後間もない 1949 年、北九州の重工業の町、小倉で始まり、次にその噂を聞いた北海道の司祭からの要請で砂川の炭鉱へ広がりました。以来 JOC には、多くの青年労働者たち一人ひとりの活動を通しての成長の歩みが刻まれています。私もその一人です。私は青年期のみならず、協力者という立場で長く JOC と関わりました。それは様々な人の人生との出会いでもあり、私にとって社会を見つめることでした。

私の話をきっかけに、社会の端っこに置かれた様々な人のことを皆さんと一緒に見つめる機会になれば幸いです。

## とりに あきこ お話し 鳥居 明子さん



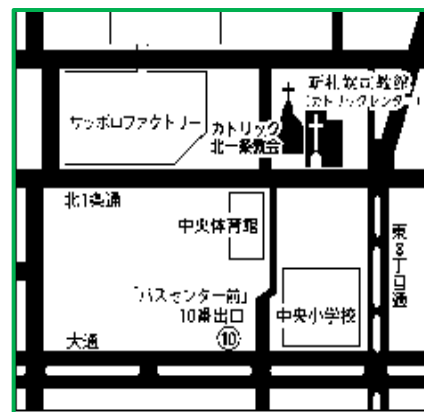
1985 年、札幌 JOC(カトリック青年労働者連盟)と出会う。  
1989 年より日本 JOC 専従、国際 JOC 専従として東京、香港を拠点に働く。  
1996 年帰国。いくつかのアルバイトを経て、理容師資格を取得。  
理容室で働く傍ら、2000 年から協力者となる。  
「もらったものを返していこう！」はかつての JOC メンバーたちの合言葉。  
人生で大切な多くの物もらった JOC にお返しをする気持ちで今年 3 月  
まで 18 年間札幌 JOC の協力者を担当した。

日時：2018 年 12 月 18 日(火) 18:30～20:00

会場：カトリックセンター 1 階会議室

参加費 無料

中央区北 1 東 6 中央体育館向い  
地下鉄東西線「バスセンター前」  
下車 10 番出口より徒歩 3 分



主催 カトリック札幌地区正義と平和協議会  
問合せ 011-864-5526 (松永)